

平成二十二年卒業証書授与式

卒業生 一三四名

(男子四十七名・女子八十七名)

卒業記念品『折りたたみ式テント』



体育祭にて騎馬戦の様子



学校長 高賀 敦子

人生を切り拓いて

いくために

すか、それぞれ進む道は異なりますが、皆さんの人生は自分で切り拓いていくという気概をもって進んでほしいと思います。今から百七十年前、土佐の貧しい漁村で生まれた中浜万次郎(後のジョン万次郎)は、十四歳の時漁の最中に船が流され仲間と共にアメリカ船に救助されました。船には、アメリカ人の他ハワイの原住民、イタリヤ人、ポルトガル人、イギリス人等が乗り込んでおり、国際社会の縮図のようなものでした。そこで彼はどんな仕事も覚え、文字を学び、

言葉を得得し、その後ハワイで仲間と別れ、彼一人だけアメリカに渡りました。そしてアメリカのアカデミーに入り、寝る間も惜しんでこつこつと勉強をし首席で卒業しました。卒業後しばらくの間捕鯨船で働いていましたが、日本の開国の必要性を痛感して、九年ぶりに帰国を果たしました。帰国後は「日米和親条約」の締結に尽力し、勝海舟や坂本龍馬、後藤象次郎ら多くの幕末の立役者に大きな影響を与えました。

なかつた万次郎は、日本語の読み書きができなかった、新しい事にチャレンジ

年々、新たな出発するためにいろいろ考える、心の改革の年。松下幸之助の言葉です。

城台の山から吹く風にも早春の息吹が感じられる季節になりました。三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これまでの皆さんの努力はもろろのこと、その間、険となり日向となり皆さんを支えてこられた方々に感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。さて、皆さんがこれから歩もうとしている社会は、大変厳しい風が吹いています。心の準備は出来ていますか。

卒業される皆さんへ

教頭 坂井 和裕

ご卒業おめでとうございます。揖斐高校で3年間を過ごされたみなさんは、これからそれぞれの人生を築かれていくと思います。人生が長い短いに関係なく、人は人生を幾つかの区切り、舞台上に例えるならば、ステージに位置づけて生きるものです。揖斐高校というステージはいかがでしたか。

高校生活を通して得た知識、磨いた人間性、心を許した友人などを一生の財産として大切にしたいと思いませんか。

までのような、例えば小学校、中学校、高等学校といった、予め決められた軌道があるわけはありません。みなさんがこれからいつ、どこで、どんな転機を迎えるかは、みなさん自身が自分で決めていくこととなります。ただ待つだけでは転機は訪れませんし、時には苦しいステージに遭遇する

こともあるでしょう。しかし、苦しい時も決してそれを悲観せず、一歩一歩進んでほしいと思います。艱難辛苦も転機の一つ、人は困難に出遭ってこそ厳しさに立ち向かう強さが身につくものです。境遇に左右されず、狼狽して彷徨することなく、正當に悠然と生きる。「悪い年は悲観する

ジする等、「人としてとるべき行動」「人としてもつべき心」を身につけていたからです。これらはいつの時代にも通用するものであり、人間の資質としてとても大切なものです。リーマンショック以来、世界的規模で経済不況が進み、しばらくは厳しい状況が続くことが予想されます。しかし、これから先時代がどう変わろうと、人生を歩んでいくために大切なことは至ってシンプルなことだと思います。それは、常に人間としての資質を磨き続け、夢や目標の実現に向けてひたむきに精進することが肝要であるということです。卒業生の皆さん、一人一人進む道は異なりますが、揖斐高校で学んだ思い出と誇りを胸に、皆さんの新しい未来が洋々たるものとなります。まず、お祈りし、はなむけの言葉といたします。

さて、次のステージに向かうことをよく節目あるいは転機と呼びますが、これは何かしら期待に溢れた爽やかな気持ちになるものです。しかし、これからは今

苦しいステージに遭遇する

こともあって、

でも先日のアジアカップにみるように、勇気もらえる出来事もあります。また、日本人のノーベル化学賞受賞はやがて帰還の成功は夢を手に入れます。これからどんな時代になろうとも、強い心で精一杯、人生を歩んでほしいと思います。みなさんのご活躍を祈ります。

最近、政治は混沌、経済は停滞、外交は不安と、まさに内外憂の極相です。でも先日のアジアカップにみるように、勇気もらえる出来事もあります。また、日本人のノーベル化学賞受賞はやがて帰還の成功は夢を手に入れます。これからどんな時代になろうとも、強い心で精一杯、人生を歩んでほしいと思います。みなさんのご活躍を祈ります。

卒業生からのメッセージ

生徒会

三年三組 安江野乃花



私は二年間生徒会役員として活動してきました。最初は何をすれば良いかわからず、先輩に教えてもらいながら二年間充実した日々を過ごすことができました。二年目では責任のある仕事を任せていただきました。体育祭や文化祭などの学校行事の運営などでは、各委員会や生徒会の仲間達と協力してやりとげることができました。また、おぼろ太鼓で地域の方々と交流することができました。時には意見がぶつかり合う時もありました。しかし、仲間がいちから様々なことを乗り越えることができたのだと思います。

副会長 三年二組 垣内 佑介



僕は、一年間生徒会副会長を務め、生徒会の一員として掛巻高校を支えてきました。生徒会の仕事は忙しく、一年間やっていけるのかどうか不安でした。時に

は先生方に厳しい指導を受けることもありました。しかしそれをばねにやりとげることができました。僕が一年間生徒会を続けられたのも先生方のおかげもありました。一番大きかったのは生徒会の仲間たちのおかげだと思います。時には励まされたい、時には協力し、体育祭・文化祭の運営や各集会の計画など、様々な活動をしてきました。生徒会の活動はとも大変でしたが、この仲間との繋がりがりや自分自身人間として成長できたと思います。一年間ありがとうございました。

部長

野球部 三年一組 谷田 健



僕は三年間野球部に所属して仲間とのコミュニケーションの大切さを学びました。また、身体的にも精神的にも成長することができ、その結果二十一年ぶりの県大会に出場することができました。最後の夏の大会では勝つことができず悔しい思いをしました。部活動で三年間一緒に活動してきた仲間を誇りに思います。一緒に頑張ってきた仲間を、ご指導いただいた先生方にとても感謝しております。

フエシング部

三年一組 岡安 諒治



僕は三年間フエシング部に所属し、全国制覇を目標にして活動してきました。この三年間は多くの辛く苦しいことがありました。試合で自分の思い通りにプレー出来ず悔しい思いをしたことも。しかし高校最後の団体では、今までの成果を発揮し優勝出来ました。今までフエシングを続けられたのは、支えてくれた家族や友人、共に成長し合った仲間、ご指導下さった先生方のおかげです。大学でも全国制覇を目指し頑張っていきます。

陸上部 三年一組 杉原 輪



僕は二年間陸上部の一員として頑張ってきました。陸上部は、主に長距離を中心として活動してきました。少人数でしたが、走る中で仲間と声をかけ合い、努力していくことができた。仲間と一緒に走ることで、実際は自分一人の力で走っているけれど、仲間の声で、頑張れる自分がいて決して自分一人で、一人の力で走っているわけではないことに気づきました。

ないことに気づきました。いびがわマラソンに出場する部員も増えたことにも嬉しく思います。 * * * ソフトテニス部 三年三組 下條古都子



私は三年間ソフトテニス部で活動してきました。練習はとも厳しく一人ではつらいものでした。しかし、部のみんなと一緒に頑張りたい、時には厳しく言い合いみんなで技術や精神を高めてきました。しかし、わたしたちは、部長でありながら体調をくずし長期入院してしまいました。私達の一番大切な試合に出れませんでした。正直とてもつらく、くやしかったです。しかし、入院した時、部員が心配してくれ、私がいなくてもさうに団結して練習し、最後の試合で念願の優勝を手に入れることができました。部活を通して仲間の大切さと、高い目標に向かって努力する大切さを知りました。何より北澤先生に出会い、いろいろなことを教えていただき、一緒に練習し試合で勝つことが一番の思い出です。

美術部 三年四組 小寺 美紀



私は美術部員として、この三年間活動してきました。二年生の後期から部長になり、新しく入部した新入生を含めた皆さんの部員達と和気藹々とした雰囲気の中で作品を作ることができました。どの作品もそれぞれの個性や感性を生かし、自分の思いを込めた作品づくりができていたと思います。先生方、三年間ご指導いただきありがとうございます。今まで学んだ事、部員と過ごした時間を忘れずに、将来の夢に向けてがんばっていきます。

茶華道部 三年二組 近藤 梨絵



私は三年間茶華道部で活動してきました。三年生になって部長になりましたが、最初はどうして良いかわからず、先生や仲間、先輩に迷惑をかけていました。しかし、ここまでやってこれたのは先生方、部員達のおかげです。私はこの部活を通して、人との接し方や礼儀を学ぶことができ、とても楽しく有意義な時間を過ごせました。先輩の皆さんにも、三年間部活を続けてこの時間をもっと好きになって楽しんでほしいです。

手芸部 三年三組 杉山 梓



私は、三年間手芸部で部活動に取り組んで来ました。三年生がいなかったため、二年生の時に部長になりました。その後、新入部員も増え自分の事だけをやってはいられなくなりました。初めは、何をしても良いのか分からず、戸惑ってばかりでした。しかし、先生方や部活の仲間を支えてもらい、二年間部長という役目をはたす事が出来ました。三年間、楽しく活動でき良かったと思います。本当に有り難うございました。

演劇部 三年二組 田丸 杏葉



私の高校生活を振り返ると三年生の夏まで部活を一杯やりきったという印象です。思えば、一年生の時に異例の部長任命で私自身が一番驚きました。部活に慣れてきた頃で部長の自覚が薄く何度も失敗をしましたが、そんな時、私を支えてくれたのは副部長や部員の仲間でした。一人で頑張っても演劇は成り立ちません。仲間がいてくれるからこそ出来ることです。それを教えてくれた仲間から感謝をしたい。本当にありがとうございます。

応援 赤団回長 三年二組 山岸 尚悟



赤団回長として高校最後の体育祭を競技優勝で終えることができてとても嬉しかったです。今回の体育祭で素晴らしいものに巡りあえました。それは、みんなが協力して一つの物を作り上げる楽しさです。最後に一つだけ言わせて下さい。いろいろな人から「山岸は何かを持っている。」と言われ続けてきました。そして、今年の体育祭で、何をもっているのか、確信しました。それは「仲間」です。それが僕の財産です。人生最後の体育祭が赤団で本当に良かったです。

バスケット部 二年四組 坪井加奈子



私は三年間バスケットボール部として活動してきました。毎年部員が少なくて、練習も試合も大変でした。しかし、人数が少ないため仲間との絆が深まり、今まで頑張ることができました。途中で先輩や後輩と対立して苦しい時期もありました。それでも何度も話し合いをして乗り越えてきました。三年間部活を続けられたのは、仲間や先生方のおかげです。ありがとうございました。

吹奏楽部 三年三組 伊藤由佳理



何度部活を辞めようと思ったことか...。一年生から部長を任せられた私には様々なプレッシャーがのしかかってきました。意見の食い違いに悩み、厳しい練習に何度もくじけそうになりました。しかし、仲間や先輩たちにも開かれ、何とか最後まで続けることが出来ました。うまくいかないけれど、人のせいにしては、そこから逃げてしまふのは簡単です。最後までやりきったことで、私は何かが変わったような気がします。私たちが支えて下さった方々に感謝。

コンピュータ部 三年二組 榎屋 亮太



僕は三年間コンピュータ部で活動してきました。三年生になって部長となり自分が後輩を引っ張って行く立場になりましたが、分からない事はばかりで頼りない部長だったと思います。でも僕が部長としての役割を果たせたのは先生や部員たちの支えがあったからだと思えます。

サッカー部 三年一組 山田 憲臣



私たちは人生から簡単に逃げてきました。僕はサッカー部での活動をキャプテンとして引っ張ってききましたが、練習になかなか参加しない部員や少しきつい練習をするのとやめてしまおう部員など癖のある部員をまとめることに大変苦労しました。掛巻高校の後輩には辛いことがあっても逃げずに最後まで部活を続けて欲しいと思います。巧い下手は関係ありません。一緒に苦勞した汗と涙がそのまま人生の宝物になると思えます。

青団回長 三年一組 平田 拓也



青団の団長として、皆をまとめられるか不安の中、応援練習は始まりました。やはり最初は指示や段取りの悪さ等から僕一人の力では団をまとめることは出来ませんでした。しかし団員の皆が率先して声を出したり、協力してくれたおかげで少しずつ形になって行きました。皆で協力した結果が応援練習につながったのだと思います。僕を支えてくれた団員の皆や、団席の皆、そして遅くまで練習に付き合ってくれた先生方、指導して下さった先生方には本当に感謝しております。皆さんのおかげで高校生活一番の思い出になりました。

学習成果発表会

平成23年1月22日(土) 大野町総合町民センター

三年四組 丸山 愛美

細野 可奈

私たちにあって学習成果発表会は楽しくもあり、たくさんの方の苦勞の連続だったという印象です。一年生の時から先輩の発表の様子を見てきました。実際に私たちの番になると、何をどうしたらいいのか、分らない事が一杯でした。研究の進め方や発表方法を含め、何度もメンバーや先生とも意見をぶつけ合っていました。

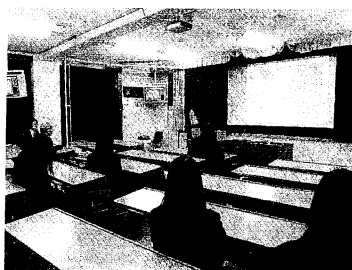


自分たちの想いや取り組みをパネル五枚におさめ、パワーポイントのスライド数十枚で全て伝えたいというのには本当に大変でした。また、会場を巡ってシュルクルフトやテーパールコデーネットの展示準備を進めてきました。当日は本当に緊張していて記憶も半分ぐらいしかありません。ただ、この一年間、食物コース二十二人の皆で取り組んできたという事実とその過程は私たちの一生の宝ものです。

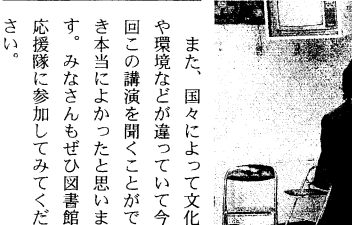


図書館応援隊

二年三組 松田 綺羅
図書館では、図書館応援隊CHALLENGEの活動をしています。今回は高橋先生を講師にお招きし、



中国やモンゴルなどの文化や生活についてプレゼンテーションを交えてお話を聞きました。今回の講演で、自分にとってためになることや考えさせられることが多くありました。カンボジアでは、今でも地面に地雷が埋まっていたり、学校も私たちが通っていないようなところではなく、設備も整っていない場所でも何人も子どもが授業を受けていて、私たちはとても恵まれているなと改めて感じました。

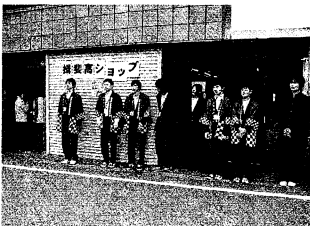


また、国々によって文化や環境などが違っていて今回の講演を聞くことができた本当によかったと思います。みなさんもぜひ図書館応援隊に参加してみてください。

揖斐高シヨップ

三年二組 加藤 圭介

今年の揖斐高シヨップは、情報コース・生活環境科が一丸となって取り組んでいたと思います。店舗をお借りしている、樽久の社長さんから接遇態度やレジの使い方、働く上での苦勞、達成感を学びました。そこで学んだことを揖斐高シヨップで発揮することができたと思います。商品は情報コースのみならず収穫した野菜を販売しました。収穫の作業はとても大変でした。また、今年は岐阜農林高校、大垣養老高校、揖斐特別支援学校の生徒の方々が製作した商品も販売しました。このような形で他の学校と協力する機会はありませんので、とてもよかったです。この経験を卒業後に生かしていきたいです。



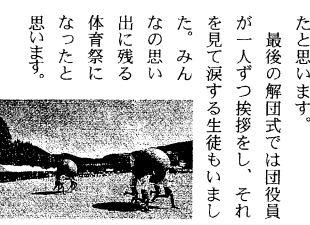
体育祭

三年一組 山田 憲臣

今年度は「大同団結」をテーマに取り組みました。今年も、体育祭を成功させるために、体育祭実行委員会を募集したところ、部活動を中心に多くの生徒達が集まり、思い出に残る体育祭を作り上げることができました。応援合戦では、夏休みから応援練習に取り組んでいた団役員を中心に、一つに



まとまった応援となりました。団対抗リレーやHR対抗リレーでは学年、クラス、男女が関係なく大きな声で選手に声援を送っている姿が多く見られることができました。とても充実した体育祭になったと思います。最後の解散式では団役員が一人ずつ挨拶をし、それを見て涙する生徒もいました。みんなの思い出に残る体育祭になったと思います。



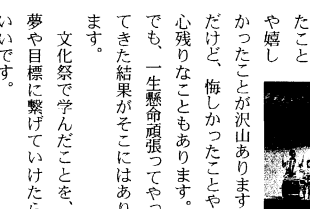
文化祭

三年一組 杉原 輪

今年度の文化祭スローガンは「Dream ｆｌｉa ｒｕ 繋がる想い」でした。一人一人が楽しくできて、思い出に残る文化祭にしようと思ひ、このスローガンを考えました。各クラスがみんなで作り上げた旗を一つにまとめ、ピクアードとして完成させることができました。各クラスの代表者を中心としてクラスを



文化祭を終えて、楽しかったことや感しがあったことが沢山あります。だけど、悔しかったことや、心残りなこともあります。でも、一生懸命頑張ってきた結果がそこにはあります。文化祭で学んだことを、夢や目標に繋げていけたらいいです。



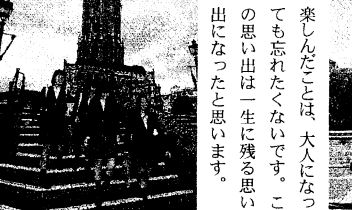
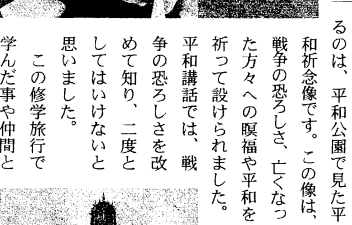
修学旅行

二年三組 福田 実優

私達二年生は、十月二十六日から十月二十九日まで、九州の長崎へ、修学旅行に行きました。平和公園や原爆資料館



ハウステンボス、太宰府天満宮へ行ったり、牧島ペーロン体験をし、それぞれの場所を堪能しました。その中でも特に印象に残っているのは、平和公園で見た平和祈念像です。この像は、戦争の恐ろしさ、亡くなった方々への祝福や平和を祈って設けられました。平和講話では、戦争の恐ろしさを改めて知り、二度としたいはいけないと思いました。この修学旅行で学んだ事や仲間と



家庭クラブ

二年三組 住吉 美穂

今年度の家庭クラブも全校生徒の協力のもと、色々な活動を行いました。クラス単位で校外のいろいろな場所の清掃活動を行うこ



とができました。新しく完成したバス停に座布団を設置することもできました。文化祭ではデコスイーツ講習会を実施し、エコキャップを利用したカップケーキやマカロンのストラップを



岐阜県家庭クラブ年次大会では、岐阜県の研究発表校の発表を聞きまし、どの学校もすばらしい発表で、本校の家庭クラブもより活発に取り組んでいこうと思ひました。皆さんこれからも家庭クラブへのご協力よろしくお願ひします。



揖斐駅の清掃